

## 【本教材について】

- テーマ： 1. 防災リーダーの役割/住民(構成員)の自助意識を高めるには
- 単元名： 2 地域防災リーダーの役割
- 所要時間： 60分程度
- 準備：
  1. ワークショップ用に、各班に1枚の模造紙と付せん紙(3色)1組、参加者人数分の細マジック(黒)を準備して下さい。
  2. 適宜、スライドの追加や変更をすることができます。参加者の特性(自主防災組織等の会長が多いか、在職期間が長いかなど)に応じて、内容の追加・削除や修正・変更を検討することで、より良い研修効果が期待できます。
  3. 実際に研修を行う前に、何人かのグループを作り、練習し合う場を設けることもよい研修とするうえで効果的です。

自主防災組織等のリーダー育成研修

防災リーダーの役割/住民  
(構成員)の自助意識を高めるには

地域防災リーダーの役割

## ●学習目標

地域で自主防災活動に取り組む際に、リーダーとして最低限必要と考えられる知識を身につける

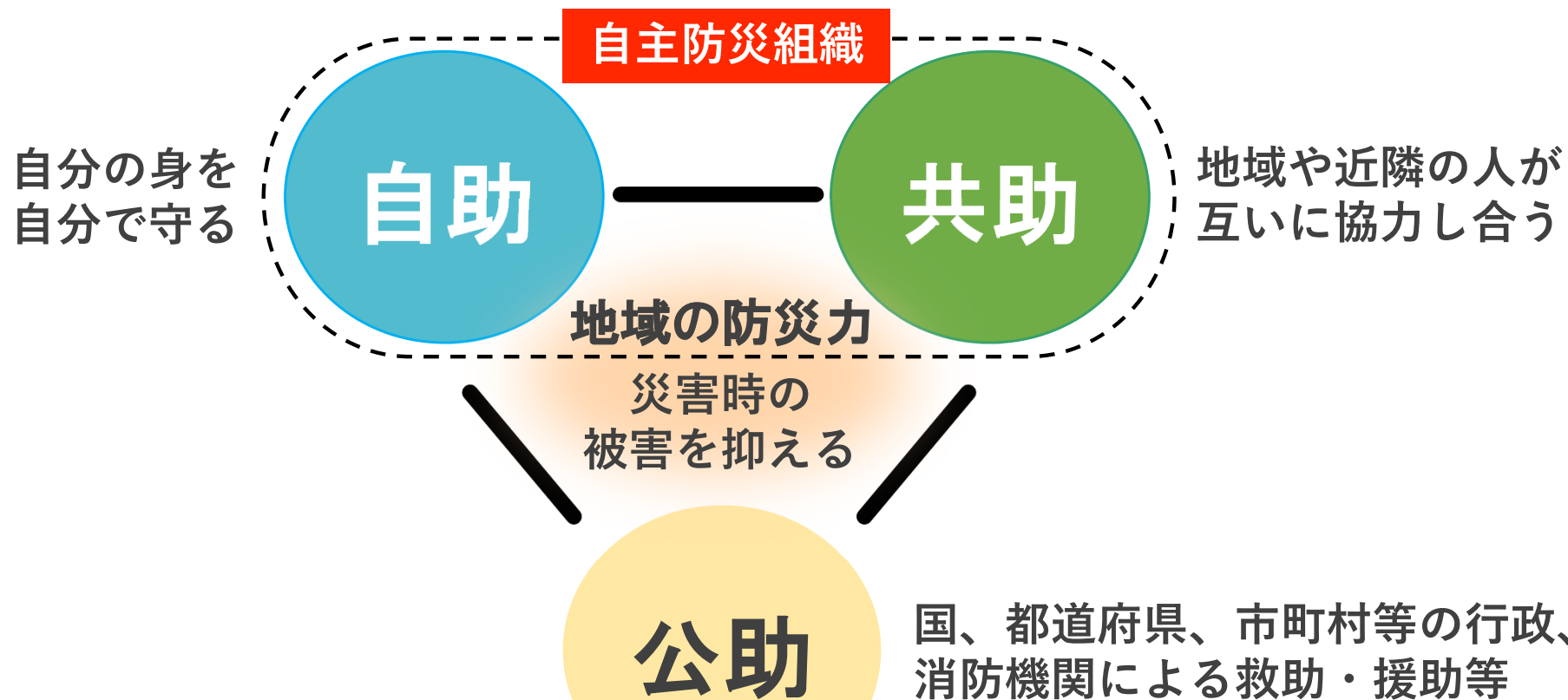
### <目次>

- 自主防災組織の役割等 P. 4～10
- 地域の防災リーダーの役割 P.11～16
- 仲間を増やす P.17～31
- 地域をとりまく団体等との連携 P.32～36

# 1. 自主防災組織の役割等

---

# 自主防災組織の役割(自助・共助の重要性)



- ひとたび大規模な災害が発生したときに、被害の拡大を防ぐためには、国や都道府県、市町村の対応（公助）だけでは限界があり、早期に実効性のある対策をとること困難です。
- まずは、自分の身を自分の努力によって守ることが重要。（自助）
- ついで、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むこと（共助）が必要です。
- そして、「自助」「共助」「公助」が有機的につながることでより被害の軽減を図ります。

# 自主防災組織について

## 自主防災組織とは、自主的に結成された地域の防災活動の中核となる組織

- ・過去の災害体験や大地震発生の予想、ニュースの災害情報などをきっかけとして、防災意識が高まり、自治会等の既存の団体をベースに結成されることが多い

### 自覚

自分たちの地域は  
自分たちで守る

### 目的

災害による被害を  
予防し、軽減する

### 活動

防災教育、避難行  
動要支援者対策、  
避難所運営など

- ・災害対策基本法では、「住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織」（第2条の2第2号）として、市町村が自主防災組織の充実に努めなければならない旨が規定されています。
- ・「隣保協同の精神」とは、「となり近所の家々や人々が役割を分担しながら、力と心を合わせて助け合う」ことをいいます。

# 自主防災組織の活動の必要性

地域とのつながり・結びつきが希薄化する現在、**安心・安全な暮らしを守る地域社会づくり**には、「自助」・「共助」の力を高める自主防災組織の活動が不可欠

## 自主防災組織の日常における活動の目的

①

【自助力の向上】

各家庭での  
防災対策の促進

②

【共助力の向上】

地域の  
災害対応力の向上

# 平時の主な取組み

平時から、防災意識の向上、地域の災害に対する備え、自助・共助の意識の向上などに取り組む

①

地域ぐるみでの  
防災意識の醸成、  
教育実施

②

家庭内の  
安全対策の推進

③

地域の  
災害危険個所  
の把握

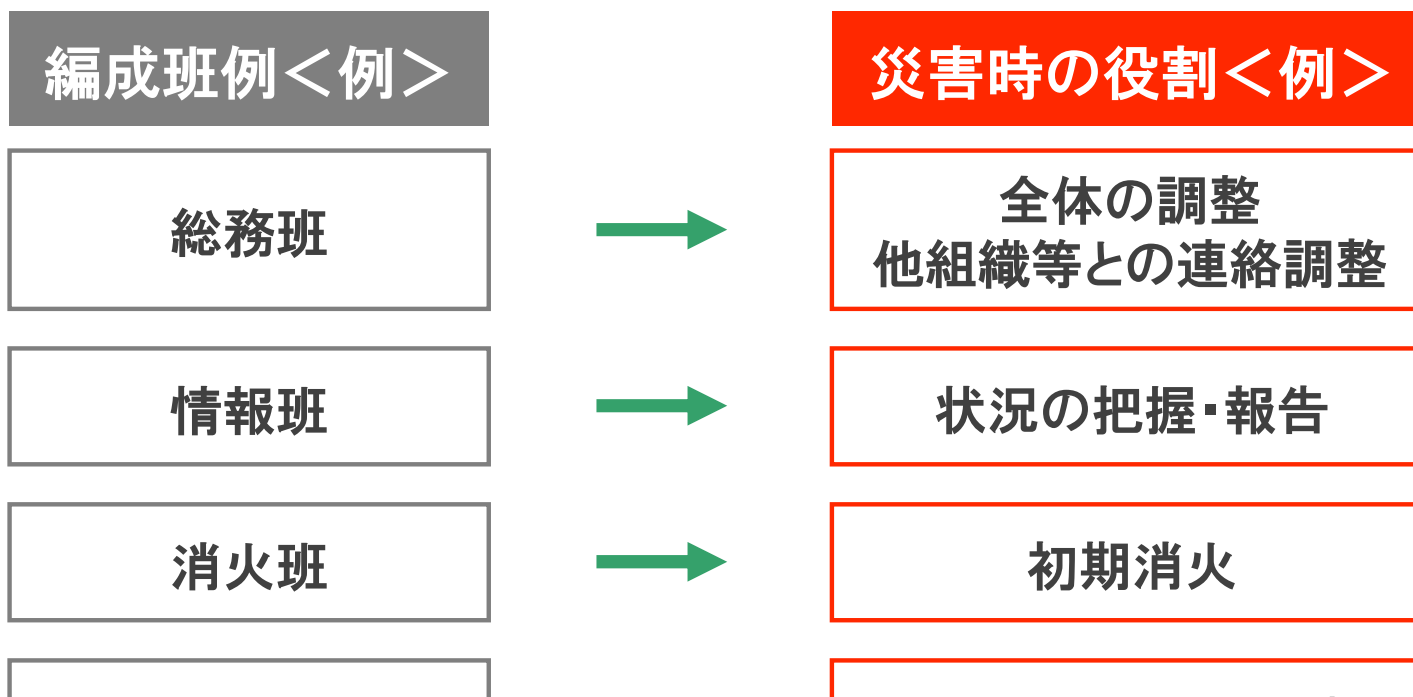
④

防災訓練



# 自主防災組織の役割の例(災害時)

1つの例です 役割を決める際の参考にして下さい



- この班編成は、消防庁の「自主防災の手引」P.18に掲載のものです。
- 組織を編成するにあたっては、まず活動班を編成し、活動班ごとにも指揮者（班長）を定めます。
- 班編成も組織の規模や地域の実情によって異なる。まずは地域に必要な最低限の班編成から徐々に編成を充実させることも必要です。

# 1. 自主防災組織の役割等

## - まとめ -

- 自主防災組織は、主に共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います

## 2.地域の防災リーダーの 役割

---

地域の防災リーダーとして  
果たす役割は何でしょうか？

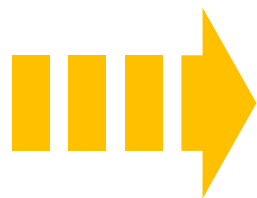
# 地域の防災リーダーの役割

平常時

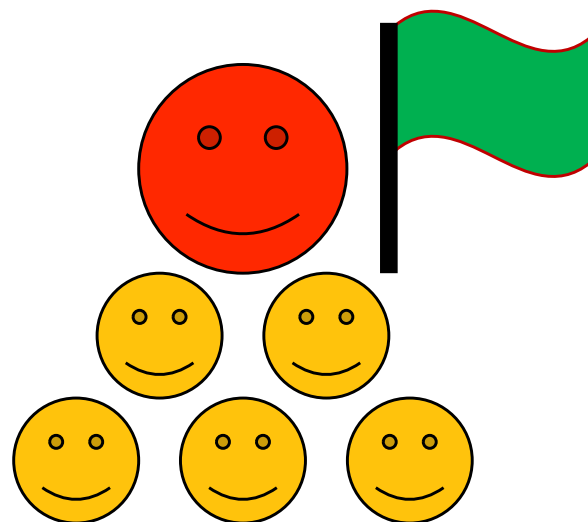
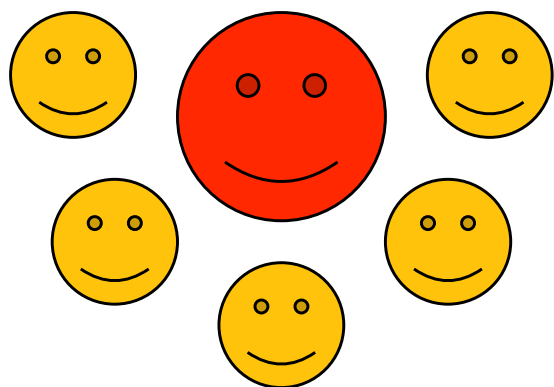
災害発生

災害時

平常時から、リーダーとして地域で中心となり活動することで…



災害時、地域住民の先頭に立って、地域の防災活動を主導していくことができる



# リーダーとして心掛けたいこと

① **リーダーという立場**を最大限利用しよう

② **楽しく活動**しよう

③ **仲間**(3人程度の協力者)を作ろう

リーダーとして  
心掛けたいこと

④ **役割を分担**しよう  
(一人で担わない)

⑤ **地域住民とコミュニケーション**を図ろう

⑥ **地域の自助意識**を高めるよう**地域の人**に伝えよう

⑦ **地域の防災活動**に参加する**人**を育てよう

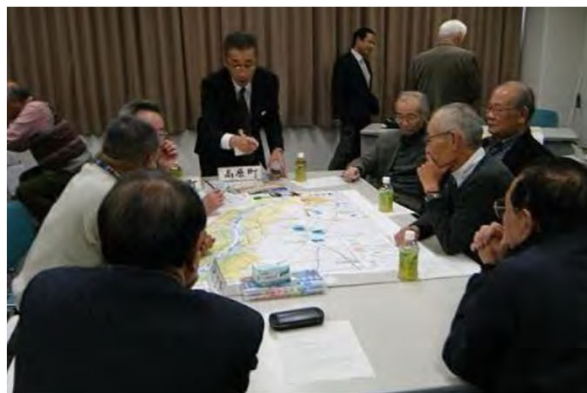
・ これらのコツは、活発に活動している組織・団体に共通してみられるものであったり、様々な研究などから指摘されてきたものを整理したもの。

# 【事例】防災リーダーの役割

## ■地域における避難の声かけ等の行動

(福岡県 <sup>あさくら</sup>朝倉市)

- 地域の役員が参加し、意見を出し合いながら地域と行政の協働で作り上げていくワークショップ手法によりマップを作成し、地区内の各世帯に配布。
- 平成29年7月豪雨でも、班長、隣組長が避難を呼びかけ。60代の支援員が80代の方を連れて小学校に避難(その方の家は山からの土砂で押し潰された)するなど、助かった方がいる。



参考:内閣府「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する今後の取組について」

## 2. 地域の防災リーダーの役割 - まとめ -

- 地域の防災リーダーは、災害時に先頭に立って防災活動を行うために、災害時だけでなく、平常時からリーダーシップを発揮して活動しましょう



# 3. 仲間を増やす

---

皆さんが自主防災組織として  
活動をしている中で、  
悩んでいることや不安なことを  
グループで話し合ってみましょう



# 悩みや不安を共有しましょう

## 【グループ検討】5分

- ・ 自主防災組織として活動する中で、悩み事や不安なことなどを、グループで話し合いましょう



皆さんの悩みや不安は  
仲間を増やすことで  
解決できることが多い  
のではないのでしょうか？

皆さんの地域に  
どんな人がいるか、  
自主防災組織として活動  
する上で仲間を増やせるか、  
考えてみましょう



# 仲間を増やす

## 【個人検討】 <3分>

- 皆さんの地域にどんな人がいるか考え、黄色の付せん紙に書き出してみましよう

パソコンが  
得意な人

料理が得意  
な人

- 付箋紙1枚に1項目を書くこと、大きな字で書くことを伝えます。
- 書きぶりを観察し、書けない人がいるようであれば事例を伝えるなどしてイメージできるように支援します。

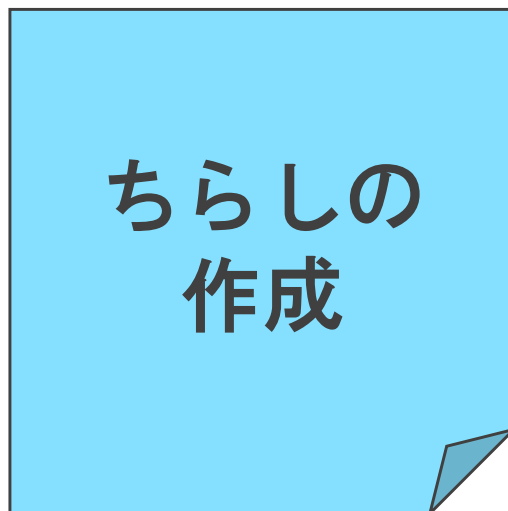


# 仲間を増やす

## 【個人検討】 <3分>

- 黄色の付せん紙に書き出した地域の人、「平常時」「災害時」にどんな防災の取組みができるか考え、青色(平常時)と赤色(災害時)の付せん紙に書き出してみましよう

「平常時」



「災害時」





# 仲間を増やす

## 【グループ内検討準備】 <1分>

- 模造紙に、マジックで「地域にいる人」「平常時」「災害時」と下の例のように書きます

### 模造紙(横)記入例

地域にいる人	平常時	災害時

- グループ作業には、アイスブレイクを行ったうえで、グループのリーダー、タイムキーパー、発表者を決めてもらい開始するとよいです。




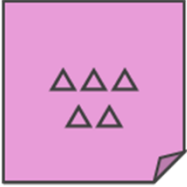

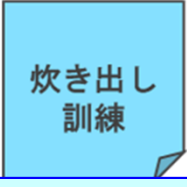
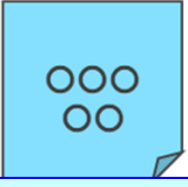

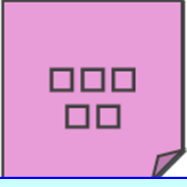




# 仲間を増やす

## 【グループ内検討】 <10分>

1. グループ内の1人が、黄色の付せん紙に書き出した「地域にいる人」を読み上げ模造紙に貼ります
2. 続いて、「地域にいる人」が活動できる防災に関する取組み(青色と赤色の付せん紙)を読み上げ、平常時と災害時にわけて貼ります。
3. 他の人は、同じ内容の付せん紙があったら近くに貼ります
4. 貼り終わったら、次の人の番です(1~3を繰り返す)

地域にいる人	平常時	災害時
	 	
	 	 






- 関連する付箋紙を横に並べて整理するよう促します。
- 同じ内容の付箋紙は重ねるとよいです。



# 仲間を増やす

## 【グループ内検討】 <5分>

- 黄色の付せん紙に書き出した「地域にいる人」が、防災の取組みに参加するためには、何をしたらよいか話し合ってみましょう

地域にいる人	平常時	災害時
パソコンが得意な人	ちらしの作成 	
料理が得意な人	炊き出し訓練 	炊き出し 
 ●な人		

# 地域の資源(人)を活かす

地域の資源(人)を活かし、平時から防災の取組みに参加してもらえるように、声をかけてみましょう

地域の資源(人)		平時	災害時
パソコンが得意	→	チラシづくり	情報の整理
料理が得意	→	炊出し訓練	炊き出し
企画が得意	→	イベント企画	レクリエーション
医師	→	応急手当のやり方	応急処置
消防士OB	→	救命講習	救急救命活動
若者	→	新しいアイデア	力仕事

# 自主防災組織に参加する仲間を増やす

多様な人達が一人一人**役割**を得て、**やりがい**を感じながら、**楽しみ**、**前向き**に取り組むことができるように心掛けましょう

広報

**知ってもらう**

広報紙、アンケート、  
イベントでPR

場

**楽しい場づくり**

参加したくなる  
雰囲気づくり

女性

**女性は不可欠**

女性にしかできない  
ことがある

次世代

**育てる・巻き込む**

継続的な活動を意識

# 【事例】自主防災組織に参加する仲間を増やす

## ■地域にいる専門人材を活用した人材の育成

くごうだい  
(公郷台自治会自主防災組織:神奈川県 横須賀市)

- 町内に潜在する災害対応専門人材や、災害時に協力してもらえる事業者を、同自主防災組織の「防災人材バンク」に登録してもらい、平常時はアドバイザー役として、災害発生時は戦力として協力体制を構築した
- 登録者には、消防職員や看護師・介護士、工務店、水道工事店がいることから地域住民に安心を提供している



参考:消防庁「自主防災組織の手引」

# 【事例】自主防災組織に参加する仲間を増やす

## ■子どもも楽しめる訓練で高まる地域の防災意識

いしがみ  
(石神自主防災会:埼玉県 新座市)

- 石神小学校体育館を利用した「お泊り訓練」を実施
- お泊り訓練の内容については、誰でも参加しやすいソフトな訓練項目、楽しいゲームや子供との災害料理を作る等。PTA、親父の会も参加
- スタンプラリー・町会炊き出し  
班と子ども達の共同炊事・  
簡易ランタンや新聞紙  
スリッパの作成・段ボール  
ブロック設置などを行った



参考:消防庁「自主防災組織の手引」  
写真:新座市ホームページ

# 【事例】自主防災組織に参加する仲間を増やす

## ■ 平常時に楽しく活動している事例

か こ がわ  
(加古川グリーンシティ防災会:兵庫県 加古川市)

### ○ 炊き出し訓練を兼ねた楽しいイベントの実施

夏祭りでの「イカ焼き機」を使った食べ物の提供や  
「ふれあい餅つき大会」の実施

### ○ 楽しいイベントでの子どもと防災会の交流

子供に防災会の人顔を覚えてもらうために、サッカーワールドカップの「パブリックビューイング」やマンション内を子どもと一緒に夜回りする「防災パトロール隊」等の子どもが楽しめるイベントの実施

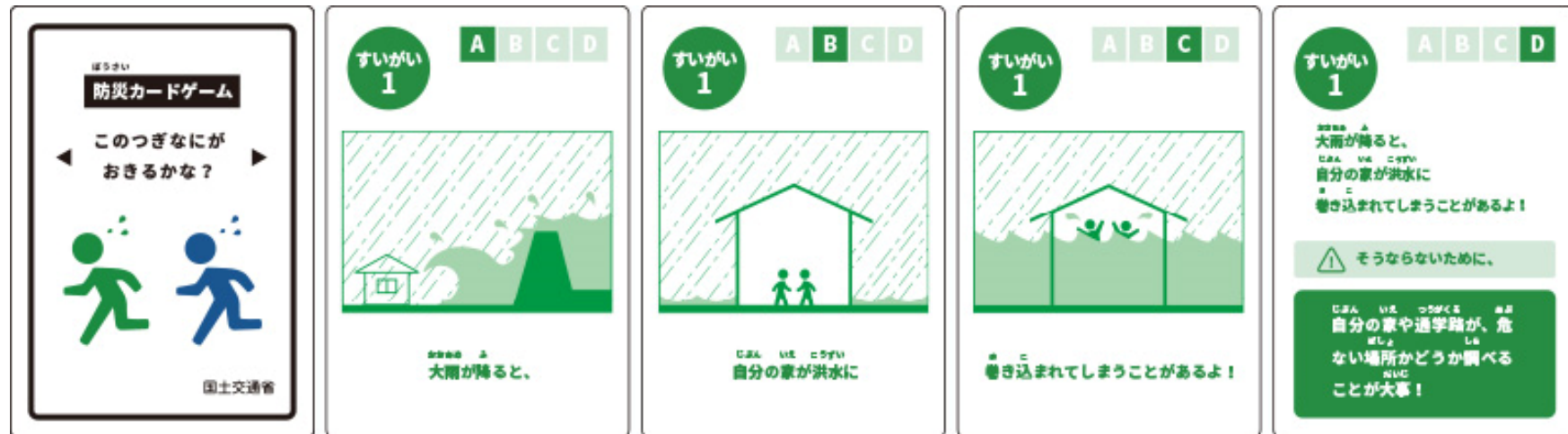


イカ焼き機  
(様々な食材を素早く焼くことができる調理器具)

# 【事例】防災ゲーム(子ども向け)

## ■このつぎなにがおきるかな？

(国土交通省)



- 津波や水害が発生したときに起こる危険な状況をイメージするカードゲーム
- 水害と津波から命を守るための方法を学べる



# 【事例】防災ゲーム(子ども向け)

## ■あそぼうさいカルタ (高知県)



- 絵でイメージをわかせながら遊べる防災カルタ
- 地震・津波から身を守るために大事なことを学べる

### 3. 仲間を増やす - まとめ -

- 女性をはじめ、地域に暮らす多様な人達を巻き込み、活動に参画する仲間を増やしましょう

# 4. 地域を取り巻く団体等 との連携

---

# 地域の様々な人や団体との連携・協力

地域には多様な人や団体があるので、まずは連携できる人や団体と協力しながら、自主防災活動を進めましょう

## 連携した訓練（例）

- 近隣の自主防災組織との合同訓練
- 消防団との各種訓練
- 社会福祉協議会等の福祉団体等との避難訓練
- 企業（事業所）との合同防災訓練
- 学校等との避難所運営訓練

## 避難行動要支援者対策

- 避難行動要支援者の状況を知る市町村をはじめ、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、介護支援専門員（ケアマネジャー）、相談支援専門員、福祉事業所、福祉ボランティア等の福祉関係団体等とも連携しながら普段から交流する等、総合的に取り組む必要がある。

## 効果

- 会議や訓練の準備活動に使う活動拠点の確保
- 活動要員の確保（幅広くPR、参加者の顔触れが変わるなど）
- 防災活動のマンネリ化の解消（運動会に防災の要素を盛り込んでもらう、地域のイベントで簡単な防災訓練や防災講話を盛り込む、見守りと防災啓発活動とを連動させるなど）

# 【事例】自主防災組織と他団体との連携（平時からの協力）

## ■ 自主防災組織と小学校の連携

う さ ち ょ う  
(宇佐町自主防災連絡協議会等：高知県)

- 小学校と連携し、学校行事の防災キャンプで、避難訓練を実施
- 子育て世代が参加
- PTA役員も参加



参考：高知県「自主防災活動事例集」

## ■ 自主防災組織、消防団、地元企業と共同で防災訓練

や な ぎ し ま  
(柳島自主防災会：静岡県 富士市)

- 消防団・地元企業と協同で防災訓練を実施
- 地元の信用金庫の非常発電を災害時に活用する訓練等を実施



参考：消防庁「自主防災組織の手引き」

# 【事例】自主防災組織と他団体との連携（災害時の協力）

## ■ 災害時相互協力協定の効果

ふくずみまち  
(福住町町内会:宮城県 仙台市)

- 他県の町内会や民間会社と、「協力協定」を締結
- 内容はたった1項目「災害が起きたらできるだけ支援・協力を行う」
- 東日本大震災の4日後には協定先から食べ物が届けられた。



参考:消防庁「東日本大震災時における自主防災組織の活動事例集」

## ■ 災害時の協力

かくだ えだの  
(角田市枝野地区防災組織:宮城県 角田市)

- 消防団・交通安全協会の方に、夜間の防犯パトロールと、避難所の当直をしてもらった
- 民間企業から暖房、燃料、機材の提供を受けた

参考:消防庁「東日本大震災時における宮城県内自主防災組織の活動事例集」

## ■避難行動要支援者避難プランの作成

（志和地区自主防災組織：高知県 四万十町）

- 高齢者や障がい者など災害時に自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」に対しては、個別避難計画を作成
- 作成にあたっては、自主防災組織が中心となって民生員等の協力を得ながら、実際に避難所要時間の計測や、避難路の状況の確認、また屋内の揺れ対策などを行い、その結果を基に、その方の支援の方法や体制の検討



聞き取り調査の実施



避難所要時間の計測

## 4. 地域を取り巻く団体等との連携 - まとめ -

- 様々な団体等と連携・協力しましょう



## まとめ

- 自主防災組織は、主に共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います
- 地域の防災リーダーは、災害時に先頭に立って防災活動を行うために、災害時だけではなく、平常時からリーダーシップを発揮して活動しましょう
- 女性をはじめ、地域に暮らす多様な人達を巻き込み、活動に参画する仲間を増やしましょう
- 様々な団体等と連携・協力しましょう